

コナガの多発生に注意!!

コナガはアブラナ科野菜の葉を食害する害虫です。

農業試験場内のフェロモントラップでは4月中旬から成虫の誘殺数が増加し、平年の約10倍以上となっています。

今後、アブラナ科野菜の播種・定植を予定している場合は、4月6半旬～5月2半旬にかけて幼虫の発生が多くなる恐れがありますので、防除を徹底して下さい。



写真 コナガ幼虫と食害痕

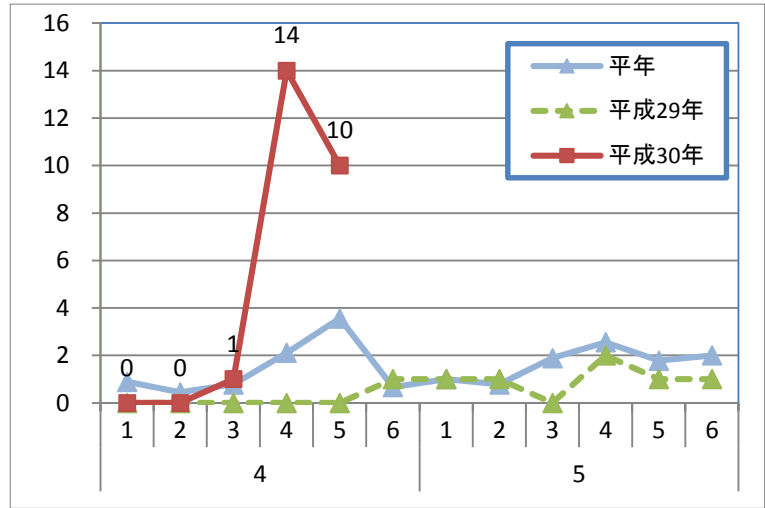


図 フェロモントラップにおける成虫捕獲数 (試験場内)

<http://www.pref.fukui.jp/doc/noushi/kankyo/boujyo30.html>

1 発生予想

農業試験場のフェロモントラップにおいて、4月4半旬に成虫の誘殺数が増加し、平年の約10倍以上となっています。今後、幼虫の加害時期は4月6半旬～5月2半旬になる見込みです。

2 主な防除薬剤

病害虫名	防除時期	薬剤名	使用濃度	10a当たり 使用量	使用時期	使用回数
コナガ	定植時	モスピラン粒剤		植穴土壌混和 1~2g/株	定植時	1回
	生育期	パダンSG水溶剤	1,500倍	100ℓ~300ℓ	14日前まで	4回
		ノーモルト乳剤	2,000倍		7日前まで	2回
		アタブロン乳剤				4回
		スピノエース顆粒水和剤	5,000倍		3日前まで	3回
		コテツフロアブル	2,000倍		前日まで	2回

・ 抵抗性発達を避けるため、系統の異なる薬剤を交互に使用する。

☆最新の農薬登録情報 (<http://www.acis.famic.go.jp/SearchF/vtllm000.html>) を確認して下さい